

イチジク栽培講習会資料

J A おおぞらいちじく部会
平成22年 7月 2日

1. 現在までの生育状況

4月始めから5月始め頃までは平年並みの気温で、日照時間も平年を超える気象で推移したが、5月の連休明け頃より気温は平年を下回り、日照時間も少なめに推移した。降水量は平年を大きく下回り土壌は乾燥気味となっている。このためイチジクの生育はやや遅れ気味となっている。本年の入梅は6月16日であった。

2. 芽かきについて

(1) 芽かきの目的

- ① 養分の無駄な消耗を少なくして、残した新梢の初期生長を促す。
- ② 樹全体の新梢の生長を揃え、樹冠内部を明るくし通気性を高める。
- ③ 着果過多を防ぎ、適正な着果量とする。

芽かきのポイント

- ◎ 芽かきの実施時期を展葉枚数で言うと、1回目は2～3枚、2回目は5～6枚、3回目は8～9枚が目安となります。

(2) 芽かきの方法

- ① 芽かきをする場合は、はさみか小刀を使い、基部が残らないようにきれいに剪除します。
- ② 中庸で良い結果枝になりやすい下芽、横芽を残します。
- ③ 陰芽や不定芽は生育不良となりやすいので優先的に掻き取ります。ただし、枝を作りたい箇所に枝がない場合は、陰芽を残して結果母枝を作ります。
- ④ 主枝や亜主枝上にできる上側の芽は強くなりやすいので、必ず取り除きます。
- ⑤ 新梢が密生している部分では間引きを行って、新梢数を少なくします。
- ⑥ 徒長枝や生長の劣るものはせん除します。

(3) 芽かきの程度

目安は、結果枝の間隔を50cm以上あけ新梢1本を残すのが原則です。
(10a当たり1, 800本が目標です)

3. 結果枝の誘引について

(1) 誘引の方法

- ① 棚のある場合はマイカー線などを利用し、棚のない場合は結果枝毎に支柱を立てて、結果枝を垂直に誘引します。

- ② 結果枝の間隔は必ず 50 cm 以上あけるように芽かきします。
間隔が狭いと着色が悪くなり、葉ずれも発生するので注意しましょう。
- ③ 好適な結果枝は長さ 100～120 cm 程度、基部の太さが 17 mm 前後のものです。

(2) 誘引の時期

誘引は 40～50 cm に伸びた頃から行い、7月中旬までに数回行います。

4、摘心について

ハウス栽培では 18 節、路地栽培では 14 節を目途に 7 月上～中旬に摘心します。
摘心後に副梢が多発する場合は先端のみ 1 葉残して適心し、伸びてきたらその都度摘み取ります。

5、ハウス栽培の管理について

(1) 温度管理

- ① 展葉期から着果期までは高温に管理すると、トビ節（着果しない節位ができる）になりやすいえ、軟弱徒長になるので最高温度 27℃ に管理します。
- ② 果実肥大期から収穫期までは、生育を促進させるため最高温度をやや高めの 30℃ で管理します。

(2) かん水

- ① 乾燥が続く土壤水分が少なくなってきたら 4～5 日おきに株もとにかん水する。
- ② 収穫期には 2～3 日おきに株元にかん水します。

6、樹勢に応じた今後の栽培管理について

(1) 樹勢が弱い場合は下記の原因が考えられます。

- ① 「肥料不足」か、「芽かき不足」
(対策) 速やかに追肥と芽かきを実施する。
- ② 「排水不良」か、「ネコブセンチュウによる被害」
(対策 1) 溝切りや敷きわら等の排水対策を実施する。
(対策 2) ネコブセンチュウを対象に薬剤防除を実施する。
→ネマトリンエース粒剤を 4～6 月の 15 日までに 20 kg/10 a を樹冠下に処理し、土壤とよく混和させる。
- ③ 「日焼け」か「カミキリムシによる被害」
(対策 1) 「日焼け」の場合は、イチジク樹冠用白塗剤「ホワイトパウダー」を塗る。
(対策 2) 日焼けの程度がひどい場合は、なるべく主幹部基部から発生した陰芽や不定芽を残して、樹全体の更新か主枝の更新を考える。

(2) 樹勢が強い場合は下記の対策を取ります。

- (対策 1) 施肥量を少なくする！
→追肥、堆肥などは施用しない。施肥量は前年度の施肥量と樹勢を勘

案して決めましょう。

(対策2) 新梢の調節

→結果母枝1カ所から2本の新梢を伸ばして、収穫前に除去します。
ただし、樹冠が暗くなりすぎないことに留意する。

(対策3) 間伐の検討とせん定方法の改善

→密植している場合は間伐を実施して樹冠を拡大させるほか、結果母枝のせん定をやや長めに切る(弱いせん定)を実施する。

7、病虫害防除について

今後、注意すべき主な病虫害は、疫病とスリップス、カミキリムシですので登録のある農薬を適期に散布してください。

特に疫病は耕種的防除として日当たりと風通しを良くすることで発生しにくくなるので、先に述べた芽かきと新梢管理を適正に行うことが重要となります。